

安全データシート (SDS)

製品名：Darina EP グリース 2

第 1 章 物質 / 混合物および会社 / 企業の識別

1.1 製品識別子

製品名： Darina EP グリース 2
他の識別方法： カートリッジグリース、Shell Darina EP グリース 2、Shell Darina グリース SD 2
品番： 085-049-858

1.2 関連する特定の物質または混合物の使用法および忌避すべき使用法

特定された用途： 潤滑油
推奨しない取り扱い： データなし。

1.3 安全データシート発行者の詳細

英国地域のお問い合わせ詳細情報

Edwards, Innovation Drive, Burgess Hill, West Sussex,
RH15 9TW, United Kingdom

一般のお問い合わせ先
Tel: +44 (0)8459 212223
電子メール: info@edwardsvacuum.com

日本地域のお問い合わせ詳細情報

Edwards 日本
EDWARDS JAPAN LTD.
(販売およびサービス)
千葉県八千代市
吉橋 1078-1
〒276-8523

一般のお問い合わせ先
Tel: +81 47 458 8831

1.4 24 時間緊急用電話番号

Chemtrec: 1-800-424-9300

第 2 章 危険の確認

2.1 物質または混合物の分類

GHS 分類： 混合物
規則 (EC) No. 1272/2008 に
基づく分類： データなし。
指令 1999/45/EC に基づく分類： データなし。

安全データシート (SDS)

製品名：Darina EP グリース 2

2.2 ラベルの要素

危険を示す絵文字： データなし。
注意喚起のための文言： データなし。
危険説明： データなし。
予防措置の説明： データなし。

2.3 その他の危険

PBT 基準： データなし。
vPvB 基準： データなし。
その他の未分類の危険： 報告されていません。

第 3 章 原材料の構成および情報

3.1 物質

該当せず

3.2 混合物

原材料	% 重量	CAS 番号	危険性の等級 *	危険表示 / 危険説明 *
高純度鈹物油および添加剤 **	100	データがありません	該当せず	該当せず
ベンゼンアミン、N-フェニル-、 2,4,4-トリメチルペンタンの反応物	1-5	68411-46-1	該当せず	R52/53

* 危険性の等級、危険表および危険説明。これらの欄には、EU 指令 No 1272/2008 (およびその改正を含む) に基づき、原材料が危険物質として分類されている場合にのみ記載を行い、十分的確かつ簡潔な表現方法ですべての原材料に関する危険を表示します。上記以外の場合、この欄には「該当せず」と記載されます。

** 原材料情報。IP346 によると、高純度鈹物油は < 3% (w/w) の DMSO 抽出物を含有しています。

公示された危険表示および危険説明の全文は、第 16 章に記載されています。

安全データシート (SDS)

製品名：Darina EP グリース 2

第 4 章 応急処置の方法

4.1 応急処置法の説明

- 眼： 最低 15 分間、多量の水で洗浄してください。なお、その際には、時々上下瞼を持ち上げながら洗ってください。炎症が続く場合は、医師の手当てを受けてください。
- 皮膚： 汚染された衣服は脱ぎ、洗濯してから再利用するようにしてください。皮膚のグリースの付着した部分を、研磨粒子の入っていない石鹸をつけて流水でやさしく、完全に洗い流してください。炎症が続く場合は、医師の手当てを受けてください。
高圧装置を使用する場合は、皮下への製品の注入が発生する可能性があります。高圧損傷が発生した場合は、症状が悪化するのを待たずに、直ちに患者を病院に搬送する必要があります。目で確認できる傷がない場合でも、医師の手当てを受けるようにしてください。以下の「医師へのアドバイス」を参照してください。
- 飲み込み / 口腔： 飲み込んだ場合は、嘔吐させようとしないで、医師の手当てを受けるようにしてください。
- 吸入： 通常使用の範囲内では、特に処置をする必要はありません。呼吸困難が発生した場合は、その者を空気のきれいな場所に移動させて休ませます。技能を有する者が酸素吸入を行うか、または必要に応じて人工呼吸を行い、ただちに医師の手当てを受けるようにしてください。
- 一般的アドバイス： 洗濯できない汚染がひどい衣服は、安全な方法で破棄してください。
- 医師へのアドバイス 症状に合った対処を行うようにしてください。高圧注入損傷に対しては、細胞の損傷および機能喪失を最小限に抑えるため、素早い外科的介入が必要であり、ステロイド治療が要求されることもあります。刺入創は小さく、その背後にある損傷の重大性を反映していないことから、罹患範囲を判断するための外科的診査が必要となる場合があります。局所麻酔薬またはホットソークは、腫れ、血管攣縮および虚血の原因となる可能性があるため使用しないでください。外科的減圧、創面切除および異物排出は、全身麻酔の下で行う必要があります、広範囲にわたる診査が不可欠です。

4.2 最も重要な急性および遅発性の症状、効果

潜在的な急性健康影響：

- 眼： 報告されていません。
- 皮膚： 適切な洗浄を行わないで長時間または頻繁に皮膚への接触を行った場合、皮膚の毛穴が詰まり、油性瘡瘡または毛囊炎等の皮膚疾患が発生する可能性があります。皮下への高圧注入により、局所壊死を含む深刻な怪我を引き起こす場合があります。

注入後数時間の遅延性疼痛および組織損傷は、局所壊死の証明となります。

皮膚の曝露部分の黒い吹き出物およびシミは、油性瘡瘡または毛囊炎の証明となります。
- 飲み込み / 口腔： 吐気、嘔吐および / または下痢等の症状が発生する場合があります。
- 吸入： 報告されていません。

安全データシート (SDS)

製品名：Darina EP グリース 2

過度の曝露による症状：

眼：	報告されていません。
皮膚：	報告されていません。
飲み込み / 口腔：	報告されていません。
吸入：	報告されていません。

4.3 応急措置の指示および要求される特別な治療

データなし。

第 5 章 消火の方法

5.1 消火剤

適合消火剤：	泡、水スプレーまたは霧。 小規模火災に限り、粉末消火剤、二酸化炭素、砂または土を使用する場合があります。
不適合消火剤：	水ジェット。

5.2 物質または混合物から発生する特別な危険

火災および爆発の危険：	データなし。
危険な燃焼生成物：	浮遊する個体、液体粒子およびガス (煙) の混合物。一酸化炭素。未確認の有機および無機化合物。

5.3 消火要員向け情報

消火要員向け特別予防措置：	データなし。
消火要員用の特別な身体保護具：	消防士は陽圧モードで動作するフルフェイスの自吸式呼吸装置 (SCBA) を装着してください。

可燃特性について - 第 9 章を参照してください。

安全データシート (SDS)

製品名：Darina EP グリース 2

第 6 章 事故による流出に対する措置

6.1 身体予防措置、身体保護具および緊急手順

緊急事態に対処する担当者以外の者向け： 身体に危険が生ずるような行動をとったり、または適切な訓練を受けずに行動したりしないでください。消火要員でない者、または身体用保護具を着用していない者を避難させます。製品の流出を防ぐため、漏れが生じている容器の漏出箇所を上に向けます。流出した物質を手で触ったり、物質の上を歩いたりしないでください。液が皮膚に付着したり眼に入らないようにしてください。適切な身体用保護具 (第 8 章を参照) を着用してください。

緊急時対応要員向け： データなし。

6.2 環境に対する予防措置

発火源の除去 / 消火を行います。漏れを止めるのに危険が伴わない場合や漏れを止める措置がとれる場合は、これを行います。漏れた液体が広がるのを防ぐため、柵または堤防で囲います。下水、川およびその他の水路を流出した液体で汚染しないようにしてください。深刻な汚染が発生した場合は、所轄の公的機関に通知してください。

6.3 閉じ込めおよび拭き取り用物質および方法

必要に応じた身体防護服を着用してください：第 8 章を参照してください。注意：製品がこぼれた場所は滑りやすくなっています。パーミキュライト、乾燥砂、土または類似の不活性吸収剤に物質を吸収させます。こぼれた物質を蓋付きの容器に入れ、廃棄します。適切な洗浄剤で残った製品を拭き取ります。地方自治体の条例および国の法律に従って廃棄してください。上下水道装置を洗浄しないでください。

6.4 参照する他の章

身体保護具については第 8 章を着用してください。

廃棄時の注意に関する情報については第 13 章を参照してください。

第 7 章 取り扱いおよび保管

7.1 安全に取り扱うための予防措置

蒸気、ミストまたはエアロゾル吸入の危険がある場合は、局所排気装置を使用してください。火災を防止するため、汚染されたボロ布または清掃用具を適切に廃棄します。物質を使用する周辺地域のリスク評価素材としてこの安全データシート中の情報を使用し、適切な取り扱い、保管および廃棄に関するコントロールの決定に役立ててください。

長時間または頻繁な皮膚接触を避けるようにしてください。蒸気および / またはミストを吸入しないようにしてください。換気が十分でない場合は、適切な呼吸用装置を着用してください。

製品をドラム缶に入れて取り扱う場合は、安全靴を履き、適切な運搬装置を使用する必要があります。

個人の良好な衛生状態を確保してください。取り扱い後または飲食前には手を洗うようにしてください。作業着は頻繁に洗濯するようにしてください。

7.2 不適合物質情報を含む、安全な保管条件

食品と一緒に保管しないでください。換気の十分な涼しい場所で、密閉容器に保管してください。適切なラベルが貼付された密閉容器を使用します。容器または容器の裏張りには、軟鉄または高密度ポリエチレンを使用してください。ポリエチレン容器を高温の場所に置かないでください。容器が歪む恐れがあります。PVC 容器は使用しないでください。

保管温度：0 - 50 °C / 32 - 122 °F

安全データシート (SDS)

製品名：Darina EP グリース 2

7.3 特定の最終用途

データなし。

第 8 章 曝露コントロール / 身体保護

8.1 コントロールパラメータ

物質	ACGIH - TLV	OSHA - PEL	職業曝露限度 EH40 (英国)
オイルミスト、鉱油	5 mg/m ³ - 8 時間 TWA 10 mg/m ³ - STEL	データがありません	データがありません

8.2 曝露コントロール

適切な工学的制御：

保護の程度および必要な曝露コントロールのタイプは、潜在的曝露条件により異なります。物質を使用する周辺地域のリスク評価に基づいてコントロールを選択するようにしてください。

物質が加熱されているか、または蒸気、ミストが存在する可能性がある場所では、空気中の浮遊汚染物質への曝露を推奨曝露限界以下に保つため、機械式換気装置を使用する必要があります。

身体保護の方法：

眼 / 顔の保護：

サイドシールド付き安全眼鏡、または対応規格に沿った他の安全眼鏡を着用し、液体の飛沫、ミストまたは蒸気への曝露を防止してください。

手 / 皮膚の保護：

手が製品に触れる恐れがある場合は、関連の基準 (例えば、欧州：EN374、米国：F79) で承認された、PVC、ネオプレンまたはニトリルゴム製の手袋を着用すると、化学物質からの適切な保護効果が得られる可能性があります。手袋の適切性および耐久性は、使用状況 (例：接触の頻度および時間、手袋の素材の耐薬品性、手袋の厚さ、作業の速さ) により異なります。常に手袋メーカーからのアドバイスを受けるようにしてください。汚染された手袋は交換するようにしてください。

呼吸器保護：

通常使用では、特別な換気は必要ありません。

空気中の蒸気またはミストの凝縮が曝露限界を超える可能性があるが技術的またはその他の方法により曝露を減少させることが適当でない場合は、認定呼吸装置を装着してください。フィルタ式呼吸装置を使用している場合は、適切な組み合わせのマスクおよびフィルタを選ぶようにしてください。フィルタは、複合粒子 / 有機ガス、および沸点が > 65 °C (149 °F) の場合には蒸気に適したものでなければなりません。

衛生基準：

良好な職場衛生を確保してください。手袋は、汚れのない手に着用しなければならず、手袋の使用後は、手を洗って完全に乾燥させる必要があります。乾燥後は、香料なしの保湿剤を手塗ることが推奨されます。

その他の一般的保護：

なし

安全データシート (SDS)

製品名：Darina EP グリース 2

第 9 章 物理および化学特性

9.1 基礎的な物理および化学特性に関する情報

外観	室温で茶色、半固形	融点 / 凝固点	データがありません	°C / °F
臭気	わずかな炭化水素臭	初留点および沸点範囲	データがありません	°C / °F
臭気閾値	データがありません	引火点	> 150 / 302 (COC)	°C / °F
pH	該当せず	可燃性または爆発上限 / 下限	代表値 1-10 (V) (鉱物油をベース)	%
蒸発率	データがありません	蒸気圧	< 0.5 @ 20 °C / 68 °F (推定値)	Pa
可燃性 (固形物、ガス)	データがありません	蒸気密度	> 1	(空気 =1)
溶解度	無視できる (水)	相対密度	代表値 900 kg/m ³ @ 15 °C / 59 °F	g/l
分配係数： n- オクタノール / 水	> 6 類似製品に基づく	自然発火温度	> 320 / 608	°C / °F
爆発特性	データがありません	分解温度	データがありません	°C / °F
酸化特性	データがありません	粘度	データがありません	cSt

9.2 その他の情報

滴点 > 270 °C / 518 °F

第 10 章 安定度および反応度

10.1 反応度

データなし。

10.2 化学安定性

通常の使用状態では安定。

10.3 危険反応の可能性

データなし。

10.4 避けるべき条件

極度の高温および直射日光

10.5 不適合物質

強力な酸化剤

安全データシート (SDS)

製品名：Darina EP グリース 2

10.6 危険な分解生成物

通常の保管中には、危険な分解生成物は形成されません。

第 11 章 毒性情報

11.1 毒性効果情報

急性毒性：	LD50 値経口：> 5000 mg/kg (ラット) LD50 値経皮：> 5000 mg/kg (ウサギ)
炎症：	皮膚炎：わずかな炎症が発生することが予測されます。 眼の炎症：わずかな炎症が発生することが予測されます。 呼吸器に炎症を起こすことがあります。蒸気またはミストの吸引により、炎症を起こす場合があります。
腐食性：	データなし。
感作：	皮膚感作物質とは考えられていません。
反復投与毒性：	反復投与毒性による有害作用はないと考えられます。
発癌性：	この製品には、発癌物質としてリストされている化学物質は含まれていません。
突然変異性：	突然変異性による有害作用はないと考えられます。
特定標的臓器毒性 (STOT) - 単回曝露：	データなし。
STOT - 反復曝露：	データなし。
吸引の危険：	データなし。
生殖毒性：	生殖の危険があるとは考えにくいです。

曝露可能経路に関する情報

データなし。

物理的、化学的特性および毒性特性に関連する症状

眼への影響：	一時的な炎症が起きたり、不快感を覚えたりする場合があります。
皮膚への影響：	適切な洗浄を行わないで長時間または頻繁に皮膚への接触を行った場合、皮膚の毛穴が詰まり、油性瘡瘡または毛囊炎等の皮膚疾患が発生する可能性があります。
飲み込みによる影響 / 口腔への影響：	吐気、嘔吐および / または下痢等の症状が発生する場合があります。
吸入による影響：	報告されていません。

安全データシート (SDS)

製品名：Darina EP グリース 2

遅発性、急性効果ならびに短期および長曝露後における慢性効果

データなし。

その他の情報

使用済みグリースは、使用中に蓄積された有害な不純物を含んでいる可能性があります。このような有害な不純物の濃度は使用態様により異なり、廃棄における健康および環境に対するリスクを示す場合があります。使用済みグリースはすべて慎重に取り扱い、できるだけ皮膚に接触しないようにしてください。製品の皮膚への高圧注入が発生した場合、外科的に製品を除去しないと、皮膚の局部壊死を引き起こす恐れがあります。

第 12 章 環境情報

12.1 毒性

吸収されにくい溶解混合物です。水棲生物の汚染を引き起こす恐れがあります。

実際的に毒性はないと考えられます。

LL/EL/IL50 > 100 mg/l (対水棲生物) (LL/EL50 は、試験用抽出液の作成に必要な名目製品量を示します)。鉱物油は、1 mg/l 未満の濃度では水棲生物に対する慢性効果を引き起こすとは考えられていません。

12.2 残存性および分解性

すぐに生体分解しないと考えられます。主成分は本質的に生分解性であると考えられますが、製品には環境中に残存する可能性のある成分も含まれています。

12.3 生体内蓄積能

体内蓄積する可能性のある成分を含有しています。

12.4 土壌中における流動性

製品が土壌にしみ込んだ場合、土壌の粒子に吸収され流動性が失われます。

12.5 PBT および vPvB 評価結果

PBT: データなし。

vPvB: データなし。

12.6 その他の悪影響

環境動態と分布

製品は非揮発性成分の混合物であり、多量の場合でも大気中に放出されるとは考えにくいです。オゾン層破壊ポテンシャル、光化学オゾン生成ポテンシャルまたは地球温暖化ポテンシャルがあるとは考えにくいです。

安全データシート (SDS)

製品名：Darina EP グリース 2

第 13 章 廃棄時の注意

13.1 廃棄物の取り扱い方法

製品： 可能な場合は、回収またはリサイクルしてください。自治体および国の適用法令に従って使用済み / 未使用製品を廃棄するようにしてください。この製品は、埋め立てまたは下水道、排水口、自然の流水または川のいずれかの環境への廃棄には適していません。

容器： 梱包材は、自治体および国の適用法令に従って廃棄するようにしてください。空の容器は、再利用、回収するか、または適切な認定を受けた容器を使用して廃棄する必要があります。空の容器には可燃性物質が残留していることがあります。適切な予防措置を講ずるようにしてください。

第 14 章 輸送情報

14.1 U.N. 番号

ADR/RID	IMDG	IATA	米国 DOT
該当せず	該当せず	該当せず	該当せず

14.2 UN 正式船舶名

ADR/RID	IMDG	IATA	米国 DOT
該当せず	該当せず	該当せず	該当せず

14.3 輸送における危険物クラス

ADR/RID	IMDG	IATA	米国 DOT
該当せず	該当せず	該当せず	該当せず

14.4 包装等級

ADR/RID	IMDG	IATA	米国 DOT
該当せず	該当せず	該当せず	該当せず

安全データシート (SDS)

製品名：Darina EP グリース 2

14.5 環境に対する危険

ADR/RID	IMDG	IATA	米国 DOT
該当せず	該当せず	該当せず	該当せず

14.6 使用者向け特別予防措置

ADR/RID	IMDG	IATA	米国 DOT
該当せず	該当せず	該当せず	該当せず

14.7 MARPOL 73/78 の Annex II および IBC コードに準拠するバルク輸送

データなし。

第 15 章 規制法令情報

15.1 物質または混合物に対する安全、健康および環境に関する規制 / 法令

欧州

この製品は、原材料および混合物の分類、表示および包装に関する EU 規則 No 1907/2006 (REACH) に従って分類されています。

供給用として危険物質に区分：いいえ

ドイツ連邦水質管理法データなし。

米国

この製品に含まれるすべての物質は、米国有害物質規制法 (TSCA) によって規制されています。

SARA TITLE III - 313 章 サプライヤー情報：

この製品は、1986 年緊急対処計画および地域住民の知る権利法 (EPCRA) 第 313 条および 40 CFR パート 372 の報告義務における有害化学物質を含んでいません。

カリフォルニア Proposition 65: この製品は、カリフォルニア州において確認されている癌または生殖毒性を引き起こす化学物質を含んでいません。

カナダ

WHMIS 分類：データなし。

この製品の原材料はカナダ DSL に記載されていません。

15.2 化学品安全評価

データなし。

第 16 章 その他の情報

この SDS は、ANSI Z400.1、化学物質の登録、評価、認可 (REACH) と制限に関する規則 (EC) No 1907/2006 (規則 No 453/2010 において改正)、ならびに化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) に基づいています。

安全データシート (SDS)

製品名：Darina EP グリース 2

16.1 省略した説明および表現に関する全文

R52/53 水棲生物に対し有害であり、水中環境に長期的悪影響を与える場合があります。

16.2 NFPA / HMIS 危険コード

NFPA 危険コード		HMIS 危険コード		評価システム
健康	データがありません	健康	データがありません	0 = 危険なし
燃えやすさ	データがありません	燃えやすさ	データがありません	1 = やや危険
不安程度	データがありません	反応度	データがありません	2 = 中程度の危険
				3 = かなり危険
				4 = 極めて危険

16.3 このデータシートの準拠情報

- Compania Distribuidora S.A (CODISA)。Shell Darina Grease SD2 物質安全データシート 1.0 版。
発効日：2010年4月4日

16.4 用語集

ACGIH - 米国産業衛生専門家会議；ADR - 陸路による危険物品の国際輸送に関する欧州協定；ANSI - 米国規格協会；CAS No. - 化学情報検索サービス機関番号；Chemtrec - 化学物質輸送緊急センター（米国）；DSL - 国内物質リスト；EH40 (UK) - HSE ガイダンスノート EH40 職業曝露限度；EPCRA - 緊急対処計画および地域住民の知る権利法；EU 欧州連合；GHS - 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム；HMIS - 危険有害性情報システム；IATA - 国際航空運送協会；IBC - 国際バルクケミカル；IMDG - 国際海上危険物規則；LD - 致死量；MARPOL 73/78 - 1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書；NFPA - 全国防火協会；OSHA - 米労働省職業安全衛生管理局；PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性（物質）；PEL - 許容曝露限界値；REACH - 化学物質の総合的な登録、評価、認可、制限；RID - 鉄道による危険物品の国際輸送に関する欧州協定；SARA (Title III) - スーパーファンド改正・再承認法；SARA 313 - スーパーファンド改正・再承認法第313条；SDS - 安全データシート；STEL - 短時間曝露限界、基準時間15分；STOT - 特定標的器官毒性物質；SCBA - 自給式呼吸装置；TLV - 許容濃度；TSCA - 有害物質規制法 94-469；TWA - 時間加重平均、基準時間8時間；US DOT - 米国運輸省；vPvB - 極めて難分解性と高い生体蓄積性を有する化学物質；WHMIS - 作業場危険有害性情報システム。

安全データシート (SDS)

製品名：Darina EP グリース 2

16.5 改訂：

2010年8月 - データシートは、最新のサプライヤー安全情報の反映のため改訂されました。

2012年6月 - データシートは、最新のサプライヤー情報および現行の規制情報の反映のため改訂されました。

2012年11月 - 欧州および米国地域のお問い合わせ詳細情報は更新されました。

2014年11月 - 規則 (EC) No 1907/2006 (規則 453/2010 において改正) および GHS に準拠する目的で更新されました。

2016年1月 - お問い合わせ詳細情報は更新されました。レビューション日を修正しないで二年一回の SDS レビュー日を保留します。

このデータシート中の情報および推奨情報の正確性には万全を期していますが、ご使用前には物質がお客様のご使用目的に合っているか確認することを推奨します。このデータシート中の情報はメーカーのデータからの転載であり、この情報の正確性はメーカーの責任事項となります。従って、製品のいかなる具体的特性も保証されることはありません。